

公示番号：160422

国名：ヨルダン

担当：人間開発部 高等教育・社会保障グループ 社会保障チーム

案件名：若年層へのキャリアガイダンス能力向上プロジェクト詳細計画策定調査（評価分析）

1. 担当業務、格付等

- (1) 担当業務：評価分析
- (2) 格付：3号～4号
- (3) 業務の種類：調査団参团

2. 契約予定期間等

- (1) 全体期間：2016年8月上旬から2016年10月中旬まで
- (2) 業務M/M：国内 0.50M/M、現地 0.60M/M、合計 1.10M/M
- (3) 業務日数： 国内準備期間 5日 現地派遣期間 18日 帰国後整理期間 5日

3. 簡易プロポーザル等提出部数、期限、方法

- (1) 簡易プロポーザル提出部数：1部
- (2) 見積書提出部数：1部
- (3) 提出期限：7月6日(12時まで)
- (4) 提出方法：専用アドレス (e-propo@jica.go.jp) への電子データの提出又は郵送(〒102-8012 東京都千代田区二番町5番地25二番町センタービル) (いずれも提出期限時刻必着)

※2014年2月26日以降の業務実施契約（単独型）公示案件（再公示含む）より、電子媒体による簡易プロポーザルの提出を本格導入しています。

提出方法等詳細については JICA ホームページ（ホーム>JICA について>調達情報>お知らせ>「コンサルタント等契約における業務実施契約（単独型）簡易プロポーザルの電子提出本格導入について」

(http://www.jica.go.jp/announce/manual/form/consul_gt/20150618.html) をご覧ください。なお、JICA 本部 1 階調達部受付での受領は廃止しておりますので、ご持参いただいても受領致しかねます。ご注意ください。

- (5) 評価結果の通知：提出されたプロポーザルは JICA で評価・選考の上、各プロポーザル提出者の契約交渉順位を決定し、2016年7月19日（火）までに個別に通知します。

4. 簡易プロポーザル評価項目及び配点

- (1) 業務の実施方針等：
 - ①業務実施の基本方針 16点
 - ②業務実施上のバックアップ体制等 4点
 - (2) 業務従事予定者の経験能力等：
 - ①類似業務の経験 40点
 - ②対象国又は同類似地域での業務経験 8点
 - ③語学力 16点
 - ④その他学位、資格等 16点
- (計100点)

類似業務	各種評価調査
対象国／類似地域	ヨルダン／全途上国
語学の種類	英語

5. 条件等

- (1) 参加資格のない社等： 特になし。
- (2) 必要予防接種： なし

6. 業務の背景

ヨルダンでは人口の70%を占める29歳以下の失業率が15%を超えており、若年層の雇用問題解決は重要な課題である。また、「アラブの春」が広がった遠因には失業問題があると言われており、周辺各国が内戦やイスラム過激派の台頭などにより不安定化している現在、同国のみならず中東地域において重要かつ喫緊の課題である。このため、若年層の失業への対応は「National Employment Strategy (2010-2020)」の重要課題として位置づけられている。

この課題に対し中心的な役割を担っているのが、労働省雇用事務所（E0）および大学のキャリアガイダンス事務所（CGO）を支援するアブドゥラー2世国王開発財団（KAFD）である。ヨルダンでは、高学歴層でも自分のキャリアパスを描いたり、就職に向けた準備したりすることができないという状況がある。また、卒業後すぐに管理職になれると考えている人が多いことにもみられるような期待と現実の乖離があり、これらが多くの高学歴者が職についていない状況の背景とされている。これは、教育課程を通してキャリアガイダンスを受ける機会がほとんどないことが一因であると考えられる。

このような状況のもと、JICAは2013年から2016年にかけて実施した「キャリアガイダンス/雇用システム能力向上プロジェクト」を通してE0の環境整備、E0職員等への研修を通じたサービス向上を支援してきた。他方、大学CGOについては、キャリアガイダンスに関する技術的なノウハウが不足しており、この機能を強化し適切なサービスを提供することを通じて、若年層の雇用促進することが課題である。本プロジェクトでは、これまで支援してきたE0を拠点として、E0と産業界、教育機関との連携強化を支援する。具体的には、求人開拓等E0のマーケティング力を強化するとともに、大学や高校など教育機関へのキャリアガイダンス支援機能を強化する。

本調査は、大学や高校のキャリアガイダンスに係る取り組みの現状や課題を確認し、事業に係る計画枠組み、実施体制、成果と活動等を整理した上で、本プロジェクトの内容を確認・協議し、本プロジェクトに関わる合意文書（M/M）を締結するとともに、事前評価を行うことを目的として実施するものである。

7. 業務の内容

本業務の業務従事者は、技術協力プロジェクトの仕組みと手続きを十分に把握の上、調査団員として派遣されるJICA職員等（以下、「JICA団員」とする）と協議・調整しつつ、担当分野に係る協力計画策定のために必要な以下の調査を行う。

具体的な担当事項は次のとおりとする。

(1) 国内準備期間（2016年8月上旬～中旬）

- ①要請背景・内容を把握する（要請書、関連報告書等の資料・情報を収集・分析し、ヨルダンの開発計画における本プロジェクトの位置づけや、協力対象分野における政策・制度の現状、開発動向を把握する）。
- ②上記を踏まえ、評価分析に係る調査計画・方針（案）を検討する。
- ③PDM（Project Design Matrix）（案）（和文・英文）、PO（Plan of Operation）（案）（和文・英文）及び事業事前評価表（案）（和文）の担当分野関連部分を作成する。
- ④ヨルダン関連機関（カウンターパート機関等）、他ドナー等に対する質問票（案）（和文又は英文）を作成し、必要に応じてヨルダン側関係機関に事前送付する。
- ⑤他ドナー等が実施する類似プロジェクトに関する資料・情報の収集、分析を行う。
- ⑥調査団事前打合せ、対処方針会議等に参加する。

(2) 現地派遣期間（2016年8月下旬～9月上旬）

- ①JICAヨルダン事務所等との打合せに参加する。

- ②ヨルダン側関係機関との協議及び現地調査に参加する。
- ③上記(1)④で作成した質問票に沿って情報を収集、プロジェクトを取り巻く現状を把握する。
- ④事前評価の方法について、ヨルダン側に説明する。
- ⑤事業事前評価表(案)(和文)の作成に必要な以下を含む各種情報を収集・分析する。調査対象の大学・高校の選定はJICAヨルダン事務所と協力して行う。
 - (ア) 大学におけるキャリアガイダンスの取り組みと課題
 - (イ) 高校におけるキャリアガイダンスの取り組みと課題
 - (ウ) 労働省による若年層を対象にした就職支援の取り組みと課題
 - (エ) アブドゥラー2世国王開発財団による若年層を対象にした就職支援の取り組みと課題
 - (オ) 他ドナーの動向
- ⑥調査団及びヨルダン側と協議の上、PDM(案)(和文、英文)、PO(案)(和文、英文)の作成を支援する。
- ⑦ヨルダン側との協議で合意された内容に基づき、R/D(案)(英文)及びM/M(案)(英文)の作成に協力する。
- ⑧担当分野に係る現地調査結果をJICAヨルダン事務所等に報告する。

(3) 帰国後整理期間(2016年9月中旬～9月下旬)

- ①事業事前評価表(案)(和文)の作成に協力する。
- ②帰国報告会、団内打ち合わせに出席し、担当分野に係る報告を行う。
- ③担当分野に係る調査報告書(案)(和文)を作成し、全体のとりまとめに協力する。

8. 成果品等

業務の実施過程で作成、提出する報告書等は以下のとおり。本契約の最終成果品は下記とする。
 詳細計画策定調査報告書(案)(担当分野): 和文1部
 なお、上記成果品の体裁は簡易製本とし、電子データも併せて提出する。

9. 見積書作成に係る留意点

本公示の積算を行うにあたっては、「JICAコンサルタント等契約における見積書作成ガイドライン」(<http://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/quotation.html>)を参照願います。留意点は以下のとおり。

航空賃及び日当・宿泊料等

航空賃及び日当・宿泊料等は契約に含みます(見積書に計上して下さい)。

航空経路は、日本⇒ドバイ/アブダビ/ドーハ⇒アンマン⇒ドバイ/アブダビ/ドーハ⇒日本を標準とします。

10. 特記事項

(1) 業務日程／執務環境

①現地業務日程

本業務従事者の現地調査期間は2016年8月22日～9月8日(移動日を含む)を予定しています。本業務従事者には、JICA団員が現地に着く前に6日間ほど先に現地入りし、調査を実施していただく予定です。

②現地での業務体制

本業務に係る調査団構成は、以下のとおりです。

- ア) 総括(JICA)
- イ) 協力企画(JICA)
- ウ) 評価分析(コンサルタント)

③便宜供与内容

JICAヨルダン事務所による便宜供与事項は以下のとおりです。

ア) 空港送迎

あり

イ) 宿舎手配

あり

ウ) 車両借上げ

全行程に対する移動車両の提供（機構職員等の調査期間については、職員等と同乗することとなります。）

エ) 通訳備上

あり（英語-アラビア語通訳）

オ) 現地日程のアレンジ

現地ヒアリング調査のスケジュールアレンジ

カ) 執務スペースの提供

なし

(2) 参考資料

①本業務に関する以下の資料をJICA人間開発部 高等教育・社会保障グループ 社会保障チーム（TEL:03-5226-8333）にて配布します。

・要請書

・「キャリアガイダンス/雇用システム能力向上プロジェクト」事業完了報告書(2013-2016)

(3) その他

①業務実施契約（単独型）については、単独（1名）の業務従事者の提案を求めている制度ですので、複数の業務従事者によるプロポーザルは無効とさせていただきます。

②次の経験があることが望ましいと考えます。

－ 労働・雇用分野に関する各種業務経験

③本プロジェクトでは多様なステークホルダーとの連携が想定されるため、各ステークホルダーの役割等を整理したうえで、各ステークホルダーからどのような情報を収集するか、プロポーザルで提案してください。

④ヨルダン国内での作業においては、JICAが規定する安全管理措置を遵守するとともに、JICA総務部安全管理室及びJICAヨルダン事務所の指示に従い、十分な安全対策措置を講じることとします。

⑤本業務の実施に当たっては、「JICA不正腐敗防止ガイダンス（2014年10月）」の趣旨を念頭に業務を行うこと。なお、疑義事項が生じた場合は、不正腐敗防止相談窓口またはJICA担当者に速やかに相談するものとします。

以上